



日本共産党市議会議員(川崎市)

かたやなぎ 進

片柳すすむ市政報告

片柳すすむブログ
はこちらから→



●発行：日本共産党
川崎市議会議員団
川崎市宮本町1
市役所第二庁舎7階
TEL 200-3360
FAX 245-4140
その他の連絡先
TEL 246-6823

川崎市の『人権条例』に「外国人の悪口を言ったら罰金」などと新たな差別を振りまく街宣が続く ヘイトスピーチに対し「誤った情報を正す発信」を

今月号の内容

- ▼1面
- ①デマ・ヘイトスピーチ正す発信を
- ②新型コロナ市の接種計画発表
- ③要望実現/新川通ゴミ捨て場撤去
- ▼2面
- ①奨学金の拡充を
- ②文教委：陳情-私学助成の拡充を
- ③介護保険料据え置きに-修正提案
- ④コラム：質問後作られたパンフ

片柳市議は「『川崎市差別のない人権尊重のまちづくり条例』に対し「韓国や北朝鮮の悪口を言ったら、日本人に罰金50万円を科す」という憲法違反の条例」などと言う街頭宣伝について、新たな差別を拡散する恐れがあると指摘して質問。市民文化局長は「主体・場所・手段及び類型などの要件に該当しない誤った解釈による発信」との認識だ、と答えました。

次に片柳市議は、人権施策推進協議会が市に求めた「(ヘイトスピーチをなくすためには)客観的な事実



質問する片柳すすむ市議

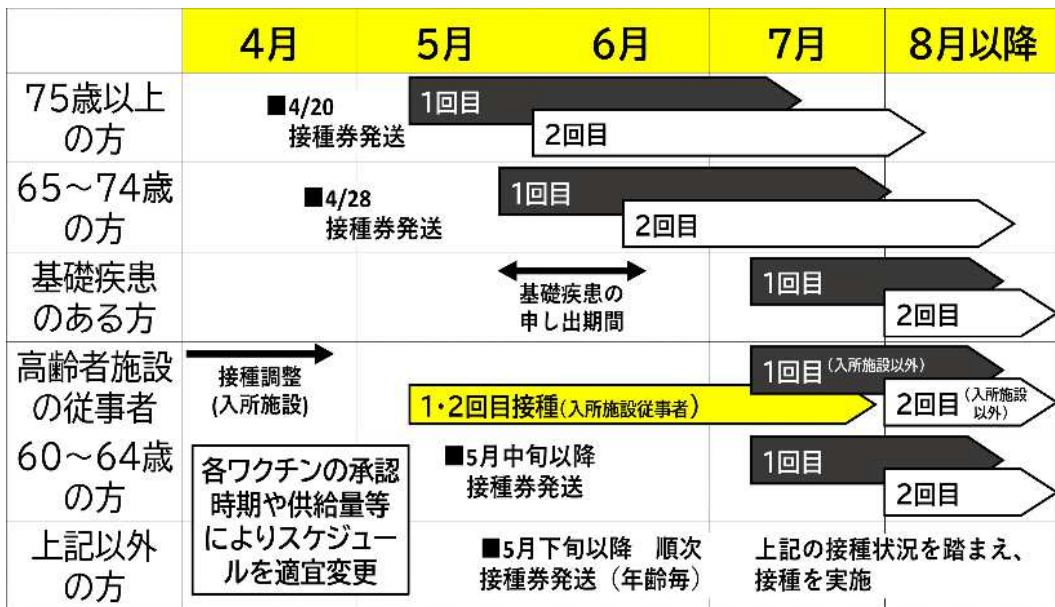
「生活保護で外国人は優遇」などのデマを、市が正すべき

2月15日から3月19日まで、川崎市の予算議案などを審議する2021年第1回川崎市議会定例会(予算議会)が開催されました。今号は市が発表したワクチン接種計画をはじめ、片柳市議が3月9日に行った予算審査特別委員会での質問、文教委員会での審議内容などを紹介します。

に基づき誤っている情報を市が正していくようなSNSでの発信」が必要という提起をどう実践したのか質問し、さらに災害時の外国人市民を

川崎市が新型コロナワクチンの「接種計画」を発表

市の発表した「新型コロナ予防接種実施計画」をお知らせします。



*川崎市「新型コロナ予防接種実施計画」より作成

医療従事者

すで優先接種を開始。5月16日までに2回分のワクチンを配布完了させ、順次接種。

高齢者施設入所者

施設での「巡回接種」を4月12日以降開始。

75歳以上の方

4月20日に市から「接種券」を発送。6月中までに2回の接種を予定。

65歳~74歳の方

4月28日に「接種券」を発送。6月中旬頃に2回目を開始予定。

高齢者施設等従事者

【入所施設の従事者】5月から優先接種実施。

【入所施設以外の従事者】

6月に接種調整、

標的にしたデマや「外国人が生活保護で優遇されている」などという「客観的な事実に基づかない誤った情報」に基づくデマに対し、市が正す発信を行うよう要求。

市民文化局長は「誤った解釈を発信されていることは遺憾」「客観的事実を把握し適時適切な手法で正確な情報発信に努める」と答えました。

民望実現 新川通バス道路上のゴミ捨て場廃止

新川通のバス道路沿いの近隣世帯専用のごみ捨て場について住民の方から相談が寄せられました。他地域の個人による不法投棄が続出しゴミが散乱して、夏には悪臭やハエなどに悩まされる事態でした。

片柳すすむ市議が市の生活環境事業所に相談して「不法投棄は禁止」という看板を設置されたものの効果はあまりなく、さらに住民の方の意見を繰り返し聞き、生活環境事業所と相談を重ねました。

最終的に歩道上のゴミ捨て場は廃止して、その後同じ位置に植栽を設置し、住民専用の鍵のついたゴミ捨て場をつくることになりました。現在は不法投棄もなくなっています。



7月中旬から1回目、8月以降に2回目接種。

基礎疾患のある方

基礎疾患の申し出の後、7月中旬から1回目、8月以降に2回目の接種を予定。

裏面に続きます

深刻な「子どもの貧困」 いまこそ奨学金の拡充を

予算審査特別委員会で片柳市議は教育委員会に対し、非正規雇用が増え「子どもの貧困」が広がる中で、実態に見合う高校奨学金の拡充を求めました。

コロナ禍で家計が深刻な状況に陥る高校生と保護者が増えていることで、相模原市は高校奨学金制度の利用者の生活実態の把握のためアンケートを行っていません。片柳市議が同様の調査を求めたところ、教育次長は「実態把握は予定していない」と回答。

教会 文員 お金の心配で仕方ない —私学助成の拡充を

3月12日、私学助成の拡充を国と県に求め意見書の採択を求める陳情を文教委員会でも審議しました。

日本共産党は「公立に落ちてしままい私立に行くことになってしまいました。大量のお金を親が出してくれていて、本当にお金がかかって仕方ありません」など私立高校生の切実な実態を紹介、実態に見合う私学助成の拡充を求めました。

片柳市議は、まず私立高校の学費の高さが進路選択に影響している事実を示し、次に神奈川県私立の授業料と入学金は平均66万6千円、それ以外にも施設整備費に

答。片柳市議は実態把握とコロナによる生活急変の場合にも奨学金が利用できるようにすべきと求めました。

次に片柳市議は、成績が5段階で3・5以上でなければ利用できない高いハードルの問題を質問。教育次長は「能力があるものに奨助奨学する」としたのは59年前だと答えました。

片柳市議は、高度成長期の当時と違い、広がる子どもの貧困と「貧困の連鎖」への対策として岡山市や相模原市が成績を問わない高校奨学金制度を創設したことを指摘。川崎市に同様の制度を求めました。

教育長は「今後も現在の制度を運用する」と回答。片柳市議は「(子

28万円、制服・副教材・修学旅行費などにも平均20万円程度かかることを指摘。

一方、国と県の制度で補助されるのは生活保護世帯と非課税世帯の場合でも65万2千円、年収750万円未満の世帯は29万3千円程度で、大きな負担だと述べました。

私学助成を拡充しお金の心配なく学べるようにするよう求め、「国と県に意見書を提出し、陳情を採択するべき」と主張し、大庭市議とともに採択を求めました。

自民・公明・みらいなどが主張したため、意見書は出さず、陳情は「不採択」となりました。



どもの貧困対策の) 既存制度の底上げが必要と『子ども若者の未来応援プラン』にも位置付けて4年経つのに全く進まない。早急に姿勢を改めるべき」と強く求めました。

高齢者の生活悪化は深刻— 介護保険料は「据え置き」に

3月19日片柳市議は「介護保険料は「据え置き」に」を改正する条例の制定について「に対する修正案の提案説明を、共産党市議団を代表して行いました。

片柳市議は、介護保険料の基準額が第7期の月額5825円から第8期は6315円と全段階で値上げされ、制度開始当初から約2倍となる」と指摘。「年金が減らされ続ける」と、高齢者の生活実態は深刻」と介護保険料の減額が必要な実態を紹介。

修正の内容として、保険料率算定の基準となる第1号被保険者の基準保険料を第7期の保険料、5825円に据え置くことを提案しましたが、日本共産党の11人以外の議員が反対したため、否決されました。

川崎市・ワクチン接種計画 (1面の続き)

60〜64歳の方

5月中旬以降、「接種券」を発送。7月中旬から1回目、8月以降に2

回目の接種。

■それ以外の方

5月下旬以降、順次年齢ごとに「接種券」を発送。ワクチン供給量等を踏まえ順次接種を実施。

ワクチンの費用や接種場所は?

- ▼ワクチン接種は無料です。
- ▼市から郵送される「ワクチン接種券」が必要です。
- ▼「DVで避難中」「住民票が川崎にない」などの方は申出が必要です。
- ▼ワクチンの対象は16歳以上です。
- ▼接種場所は、川崎区の方は教育文化会館(月・火は休み、9〜13時、14〜18時)、他は各区の市民館です。その他、協力医療機関での接種を調整中です。

ワクチンの「副反応」が心配…

- ▼新型コロナウイルスの接種は強制ではありません。
- ▼ファイザー社のワクチンの場合、注射した部分の痛み、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。しかし、大部分は数日以内に回復しています。
- ▼健康被害が起きた場合、予防接種法に基づく救済を受けられます。

*問合せは左記コールセンターへ

新型コロナウイルス接種 コールセンター

044-2000-0730

(土日含む24時間相談可)

質問後に作られた「パンフ」

1面の「人権条例」の質問の後、条例の内容を知らせるパンフレットが作成されました。予特委員会の時から進んで「誤った情報を止す」発信に踏み込んだ印象です。



「外国政府や外国人の批判や悪口を言えば罰金」について、パンフは「宴席での会話、外国政府の批判を理由として批判する表現等は該当しない」などと反論しています。



No. 69 片柳 すすむ

日進月歩

また「日本人に対する差別的言動も規制すべき」などという誤解についても「過去に(本邦外出身者排斥の)デモが繰り返したため「条例による規制が必要」と判断した。一方「日本人差別」は、立法事実がないため条例による規制は必要ないと判断」と明快に反論。

「人権条例」の質問の後、条例の内容を知らせるパンフレットが作成されました。予特委員会の時から進んで「誤った情報を止す」発信に踏み込んだ印象です。

干後押してきたかな、と思います。